



- ☆明推協 柏村会長よりメッセージをいただきました！
- ☆今年も作文コンクールを開催します！
- ☆100周年の国勢調査が行われます！

☆私の思い描く選挙への啓発活動は 青葉区明るい選挙推進協議会 会長 柏村 茂

私の啓発活動の進め方を振り返る

区の連合自治会の指名を受けて「明るい選挙推進協議会（明推協）」の仲間入りをしたのは、今から五年前だったか。以来毎年、あざみ野や青葉台の駅頭で、選挙啓発のための活動を続けて来ました。ティッシュや花の種などを通行客一人ひとりに手渡す活動をするのです。

活動を始めた頃は、改札口から早く出ようとやってくる、人・人・人の波にもまれるようにして必死になって啓発物を手渡すことだけで精一杯でした。一方、電車に乗ろうと足速に歩く人々に、声掛けにたじろぐこともありました。また、寄り付きにくい雰囲気の人に、差し出した啓発グッズを途中で止めたりしたこともありましたが、五年にもなると、だんだんと手渡しの要領にも慣れて来ました。



啓発グッズの手渡しのタイミング

闇雲に駅を利用する乗降客に声を掛け、グッズを手渡しすればよいとするような安易な考えでは、啓発活動のねらいは満たされません。通行客の目と目を合わせた瞬間が勝負。そのタイミングを外すと「イヤ、ちょっと急いでいるので__。」「ごめんなさい。」などとさし出すグッズを押し返されることだってあります。

相手へかける言葉の吟味

私たちは、相手に寄り添ったことば掛けを工夫したいものです。「そうだ。選挙へ行かなくてはネ。」「投票日を忘れないようカレンダーへマークをつけておこう。」「あ、その日は予定があるから、期日前投票に行かなくては__。」など、私たちの働き掛けに、相手がどう反応するかを推し測っての活動をしたいものです。「〇月〇日は、投票日です。」「投票日をお忘れなく！」「若い力を選挙へぶつけよう。」「投票であなたの暮しが、変わります。」

この拙い私の文をお読みの方は、どんなことばを相手に掛けようとなさいますか。

グッズの渡し方も工夫して

さきほどはグッズの渡し方のタイミングが大切と書きましたが、「渡し方」にも工夫の余地があります。しっかりと相手の手の中へ、また、そっと念を押すようにして渡す。ことばを掛けながら__。笑顔と共に__。相手の買い物袋の中へ__。その一つひとつが重なって相手の心に投票への思いが確かになる__そんな啓発活動を願って止みません。





明推協 年間スケジュール



5月	青葉区明るい選挙推進協議会定例会議 (書面会議)	11月	青葉区民まつり 2020 (予定) イコット通信の発行 次年度推進委員・推進員委託準備
6月		12月	
7月	作文コンクール (~12月) イコット通信の発行 せんきょフォーラム (通年予定)	1月	
8月		2月	大学連携事業 (予定)
9月	高校文化祭への参加 (予定)	3月	イコット通信の発行 推進委員・推進員研修会 (予定)
10月			

青葉区明るい選挙推進作文コンクール 2020

テーマ : 「選挙について考える」

※内容が選挙に触れていれば、題名は自由です。

対象 : 青葉区内の中学校 (公立・私立は問いません)
に通学する生徒

× 切 : 専用の原稿用紙を使用して、9月4日(金)までに学校に提出してください。



昨年は 448 作品
応募がありました!

国勢調査 100周年!

今年には国勢調査が行われます。大正9年の調査開始後、100周年を迎える節目の調査です。調査結果は人口推計や防災対策、企業のエリアマーケティングなど、私たちの暮らしを支える重要な情報源になります。



横浜市の人口は約9倍!

大正9年
約42万人



平成27年
約372万人

編集後記

推進委員・推進員の皆様、今年度もよろしくお願い致します。昨今の情勢で先行きの見えない状況が続きますが、柏村会長のお言葉にもありましたように、「相手の心に投票への思いが確かになる」選挙啓発の実現に向けて事務局一同取り組んで参ります。

あおぼイコット通信
令和2年7月号

<編集・発行>
青葉区明るい選挙推進協議会

<事務局>
青葉区総務課統計選挙係
TEL:978-2205 FAX:978-2410